旧板橋第三小学校跡地施設整備構想・整備計画

（素案）

令和８年９月

目次

第１章　はじめに 1

１　経緯・計画策定の趣旨 1
２　旧板橋第三小学校跡地活用方針および施設整備構想・整備計画 （中間のまとめ）令和８年４月 1
３　本計画の位置づけ 2

第２章　旧板橋第三小学校跡地の現状と課題 3

１　建物・敷地の状況 3
２　旧板橋第三小学校跡地周辺の状況 6
３　問題点及び課題の整理 7

第３章　旧板橋第三小学校跡地活用方針 11

１　基本的な考え方 11
２　活用のコンセプト 11
３　課題解決の方向性／配置する機能 11
４　ゾーニング案 12

第４章　施設整備構想 13

１　基本理念 13

第５章　施設整備計画の検討状況 14

１　建物構造・機能 14
２　運営方針 14
３　施設整備の考え方 14
４　外構計画 16
５　その他整理すべき検討事項 16
６　整備・配慮すべき事項 17

第６章　事業手法・今後のスケジュールなど 18

１　事業手法 18
２　想定事業費 18
３　事業・工事スケジュール 18

第７章　住民・施設利用者意見まとめ（旧板四中と同時説明） 19

１　住民説明会の概要 19
２　施設利用者アンケート 20

※　本資料については、整備構想・整備計画（素案）であり、検討の深度化に併せ、変更の可能性があります。

第１章　はじめに

１　経緯・計画策定の趣旨

旧板橋第三小学校（以下「旧板三小」）は、平成 14（2002）年３月末に閉校以降、旧校舎に改修を加えて用途転用し、公文書館・いたばし総合ボランティアセンターなどとして暫定利用しています。

跡地活用に際して、平成 30（2018）年度に「旧板橋第三小学校跡地活用基本構想」を策定し、第１期整備として旧校舎敷地東側に「子ども家庭総合支援センター」を新規整備するとともに、開設以降の課題等を見据え、敷地西側を有効活用していく方針を示しました。

令和３（2021）年１月に１年前倒しで策定した「いたばしNo.１実現プラン 2025」において、コロナ禍など社会環境の急激な変化を踏まえ、公共施設の新規工事着工を原則先送りの方針を示しました。

その後、令和６（2024）年１月に策定した「いたばしNo.１実現プラン 2025 改訂版」に基づき、この間における社会環境の変化を踏まえつつ、次期基本計画を見据え、改めて旧板橋第四中学校（以下「旧板四中」）の跡地活用の検討と並行して旧板三小の検討を開始し、令和８（2026）年４月に「旧板橋第三小学校跡地活用方針および施設整備構想・整備計画（中間のまとめ)」を作成しました。

２　旧板橋第三小学校跡地活用方針および施設整備構想・整備計画（中間のまとめ）令和８年４月

（１）検討課題

○　広場･集会所設置要望への対応

◆　安心･安全のための地域拠点として、防災広場の整備や防災機能の強化

◆　民間施設を借用し運用している、本町集会所の移転及び機能拡充

○　既存施設の機能継続

◆　ボランティアセンター等、既存施設が本移転するまでの間の機能継続

○　本庁舎周辺の公共施設整備を見据えた整備

（２）活用方針及び課題解決の方向性

①広場･防災機能強化

災害時の一時集合場所に位置付けられている広場機能の継続と、地域防災機能の維持･継続をするための住民防災倉庫等を整備します。

②コミュニティ空間整備

本町集会所の移転を軸に、集会所機能を整備し、近隣住民の居場所空間となるような整備をします。

また、緑を感じながら気軽に集い、休憩ができる広場空間を整備していきます。

③将来需要への柔軟な対応

本庁舎周辺公共施設再編を円滑に進めるための受け皿を確保します。また、要支援児童等への対応強化として、子ども家庭総合支援センターを補完する機能を検討するとともに、他将来需要へ柔軟に対応ができる整備をします。

３　本計画の位置づけ

板橋区基本構想（令和７年１０月議決）

将来像：未来をひらく　緑と文化のかがやくまち“板橋”

板橋区基本計画２０３５（令和８年１月策定）

計画を推進する区政経営

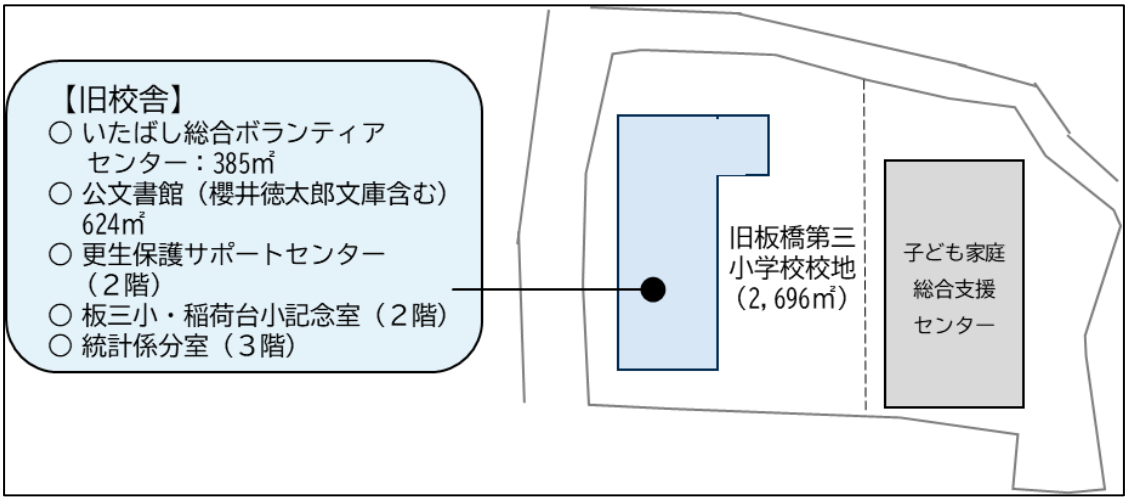
共創による地域課題の解決と多様性を尊重した包摂的な社会づくり

旧板橋第三小学校跡地施設整備構想・整備計画

第２章　旧板橋第三小学校跡地の現状と課題

１　建物・敷地の状況

（１）資産の現況



所在地	東京都板橋区本町 24-１
敷地面積	2,696 ㎡
建物面積	2,703 ㎡
構造	RC 造、地上３階
築年数	昭和 34～41 年（築 59～66 年）
施設現況	いたばし総合ボランティアセンター、公文書館、更生保護サポートセンター、総務課統計係分室、記念室

（２）各施設の基本情報

① いたばし総合ボランティアセンター

【施設概要】

施設規模		延床面積：397.04 ㎡（建物延床：2,703.27 ㎡）
運営状況		開館時間：9:00-21:30 ※無休（年末年始・点検日除く。ただし事務局は日・月休み） 運営者：区民文化部 地域振興課
諸室	１階	事務室 68.22 ㎡、第１ボランティア・ＮＰＯルーム 68.22 ㎡ 第２ボランティア・ＮＰＯルーム 24.05 ㎡ 第３ボランティア・ＮＰＯルーム 22.80 ㎡ ＮＰＯサロン 68.22 ㎡
	３階	第４・第５ボランティア・ＮＰＯルーム 133.92 ㎡
	他	交流広場・駐車場 約 1,100 ㎡、倉庫等

② 公文書館

【施設概要】

施設規模		延床面積：624.8 ㎡
運営状況		開館時間：9:00-17:00 休館日：日曜日、月曜日、年末年始(12/29-1/3) 運営者：総務部 区政情報課
諸室	２階	事務室・閲覧室 107.74 ㎡、作業室 34.11 ㎡ 第一書庫（移管文書）68.22 ㎡ 第二書庫（行政刊行物、他自治体史等） 68.22 ㎡ 第三書庫（いたばし郷土史、地図、写真等） 68.22 ㎡
	３階	櫻井徳太郎文庫 278.29 ㎡

③ 更生保護サポートセンター

【施設概要】

施設規模	施設面積：40.5 ㎡
運営状況	開館時間：11:00-15:30 休館日：土曜日、日曜日、祝日、年末年始(12/29-1/3) 運営者：板橋区保護司会
諸室	事務室

④総務課統計係分室

【施設概要】

施設規模	施設面積：64.8 ㎡
運営状況	開館時間：9:00-17:00 休館日：日曜日、月曜日、祝日、年末年始(12/29-1/3) 運営者：総務部 総務課
諸室	作業室兼倉庫

⑤ 板橋第三小学校 稲荷台小学校記念室

【施設概要】

施設規模	延床面積：93㎡
運営状況	開館時間：9:00-21:30 休館日：年末年始(12/29-1/3) 運営者：教育委員会事務局 新しい学校づくり課
諸室	記念室

（3）敷地周辺状況

北側に東京都道 318 号環状７号線、西側に首都高速５号池袋線及び国道 17 号線が通っており、南側には石神井川が位置する立地です。



【旧板三小　周辺状況図】



①敷地南西沿いの通り



②旧校舎の北側



③旧校舎の西側



④西側三叉路からみた首都高



⑤敷地南側に隣接する保育園



⑥南側の小路



⑦子ども家庭総合支援センター



⑧東側からみた交流広場



⑨北側交差点からみた旧校舎

２　旧板橋第三小学校跡地周辺の状況

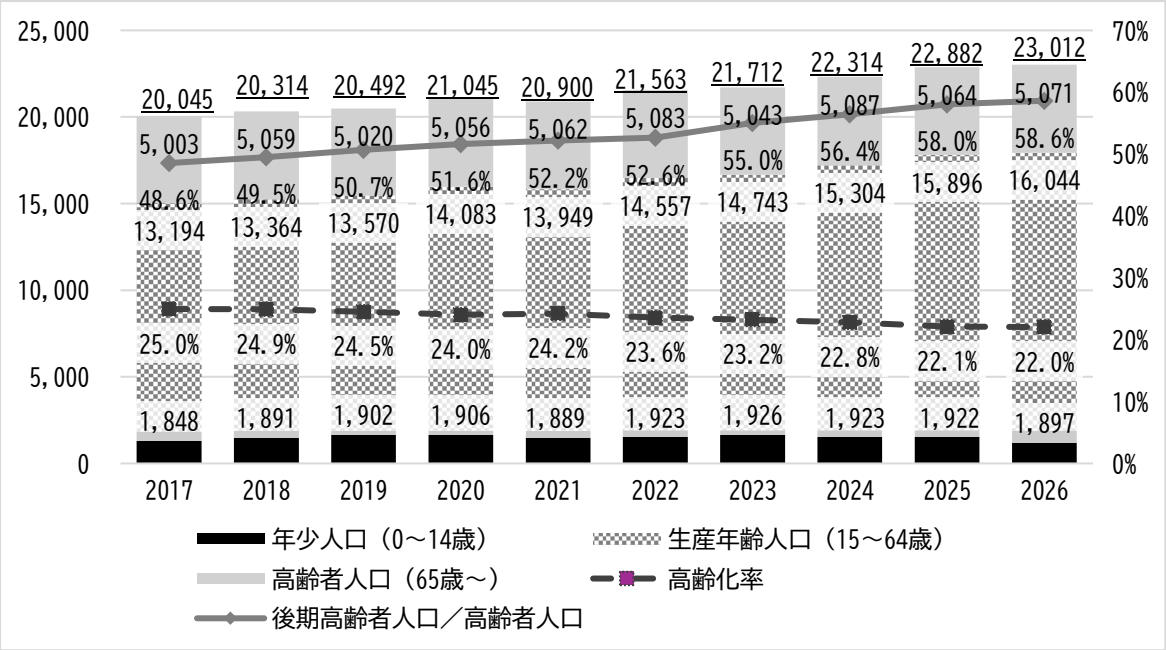
（１）富士見地区の人口推移（H29～R8）

■人口構成の推移（年少人口、生産年齢人口、高齢者人口）

○　富士見地区の総人口は、この 10 年で約 3,000 人増加しています。

○　生産年齢人口・高齢者人口は増加傾向です。一方で、年少人口は令和５（2023）年をピークに減少傾向にあります。

○　高齢化率は、この 10 年間で３％減少していますが、後期高齢化率は約 10%増加しています。



※各年 1/1 現在の比較

3　問題点及び課題の整理

（1）各施設の利用状況及び課題

■旧板三小跡地

①いたばし総合ボランティアセンター

利用実績等

○　ボランティア・NPO 登録団体は、無料で各室を利用可能。

【各室利用実績】

		令和５年度	令和６年度	令和７年度
第１ルーム	利用人数	7,763 人	8,259 人	9,522 人
第２ルーム	利用人数	6,692 人	5,885 人	6,604 人
第３ルーム	利用人数	3,861 人	3,942 人	3,476 人
第４ルーム	利用人数	9,693 人	9,311 人	9,930 人
第５ルーム	利用人数	4,112 人	4,006 人	4,595 人

【その他実績】

		令和５年度	令和６年度	令和７年度
交流広場	貸出団体数	53 団体	374 団体	120 団体
	利用人数	8,492 人	8,481 人	6,744 人
ＮＰＯサロン	団体数	1,538 団体	1,293 団体	1,264 団体
	利用人数	3,561 人	2,566 人	3,196 人

現状・課題

○　「いたばし総合ボランティアセンター運営ビジョン 2030」を令和５年 12 月に策定し、課題は、以下のとおりです。

- ビジョンに掲げる将来像を実現するための方策の一つとして、「活動拠点の充実」を掲げています。
- 施設や設備の老朽化が激しく（雨漏り、机や椅子のガタつき等）、セキュリティも含め施設管理業務が負担となっています。
- 日中利用が多く、貸室が飽和状態となる時があります。
- 小豆沢体育館の災害ボランティア本部以外にも、災害ボランティアのサブ拠点としての空間の確保（物資の備蓄やボランティアの滞在スペース等）が課題となっています。

②公文書館

利用実績等

利用実績

	令和５年度	令和６年度	令和７年度
来館者数	778 人	801 人	833 人
閲覧・複写申請数	1,953 点	1,223 点	1,223 点
有料コピー枚数	1,426 枚	2,407 枚	1,090 枚

所蔵件数（令和７年度末時点）

項目		件数	
公文書	移管整理済文書		47,804
刊行物等行政資料	移管整理済行政資料	11,922	20,064
	民間企業・団体等資料	8,142	
いたばし郷土史関係資料	区内諸家・寺社等古文書（複写物）	28,486	53,566
	区外板橋区関連資料（複写物）	17,956	
	学校教育関係資料	447	
	古文書（現物）	6,677	
自治体史	他自治体史書		2,058
その他資料	写真資料	99,446	105,871
	地図資料	946	
	その他（ﾏｲｸﾛﾌｨﾙﾑ等）	5,479	
櫻井徳太郎文庫	学術書	15,077	39,058
	雑誌等	22,981	
	カセットテープ・ビデオ等	1,000	
		合計	268,421

現状・課題

○ 公文書館は、公文書館法に基づき、区に関する公文書や刊行物等の歴史的に重要な資料を収集・保存し、広く区民の利用に供することを目的とした施設です。
○ 資料のデジタル化やデジタル公開を進めています。
○ 今後の収容量については、移管公文書については、決裁文書電子化の進展に伴い、紙文書の移管ペースは鈍化していく見込みです。

③更生保護サポートセンター

利用実績等

○ 通常の開館時間に加え、年間約 50 回開催される各種会議のうち、12 回程度は土日祝日及び夜間等も利用しています。
○ 現状で年間 100 回程度の面接利用については、夜間利用が約８割となっています。

現状・課題

○ 事務室には保護司が常駐し、相談や作業を行っています。資料等の保管場所も含め、現状と同等の面積を確保する必要があります。
○ 面接時には施設共用の会議室（旧板三小・稲荷台小記念室の一部）を使用していますが、プライバシー保護の観点か

	ら外から見えず音が漏れない壁で仕切られている独立した面接スペースが必要です。 ○ 面接対象者の就労時間に配慮し、土日及び夜間の時間帯に面接を実施できる施設内に配置する必要があります。また、施設の検討にあたっては、面接対象者の出勤前である早朝の時間帯も利用可能な施設が望ましいです。 ○ 現状の更生保護サポートセンターは、東武東上線の駅から遠く、同線沿線の面接対象者・保護司が利用しにくいため、同線及び都営三田線の２路線利用が可能な利便性の高い立地が望ましいです。 ○ 会議やイベント準備等、複数の保護司が集まり物品の用意・搬出入作業などがあり、また公共交通機関から遠く、仕事の合間に行う面接などで車を利用する保護司も複数いることから、駐車場の確保が必要です。 ○ 会議やイベント準備等で、共用の会議室（旧板三小・稲荷台小記念室の一部）を使用しています。引き続き同等程度の会議スペース（共有も可能）が望ましいです。

④ 総務課統計係分室

利用実績等	○ 統計調査の作業スペース・物品倉庫等として利用しています。 ○ 職員が常駐して使用するのは数か月から半年程度です。 ○ 調査に応じて、会計年度任用職員を任用し、調査書類の審査等を行います。
現状・課題	○ ５年毎に実施される国勢調査、経済センサス活動調査等については、分室では面積が不足するため、作業室を別に確保する必要があります。 ○ 毎回、作業室が変わるため、その都度調整の必要が生じるほか、環境整備の経費を毎回要しており、安定的に使用できる作業室の確保が課題です。

⑤ 板橋第三小学校　稲荷台小学校　記念室

利用実績等	○ 旧板三小・稲荷台小の記念品が展示されており、希望者は見学することができます。 ○ 年間 10 名程度の来場者がいます。
現状・課題	○ 地域や卒業生などの思い出が、未来へ継承できるような整理が必要です。

⑥ 交流広場

施設規模等	○ 旧板三小の校庭部分を活用（約 1,000 ㎡）
利用実績等	○ 優先利用・貸出等は行っていませんが、防災訓練や地域のお祭り会場、災害時の一時集合場所として、地域の皆様に活用いただいています。 ○ 夕焼けチャイムの時間まで地域の方が利用できるよう開放しています。
現状・課題	○ 地域からは、引き続き地域の行事等で使用できるよう要望があり、対応を検討する必要があります。

■周辺・関連公共施設

①本町集会所

施設規模	延床面積：72.93 ㎡
運営状況	開館時間：9:00-21:30 休館日：施設保守点検日、年末年始 運営者：区民文化部 地域振興課
諸室	集会室
利用実績等	【利用率】

令和５年度	令和６年度	令和７年度
34.7%	35.0%	47.1%

現状・課題	○ バリアフリー対応が求められる中、当集会所は民間建物のスペースを借用しているため、機能拡充が困難となっています。 ○ 大雨の際に雨漏りや浸水等の被害が発生するなど老朽化が進行しており、対応が求められています。 ○ 地域からは、施設の老朽化及び駐輪場未設置の状況を考慮した新たな集会所の設置要望があり、対応を検討する必要があります。

② 公園・児童遊園

配置状況等	現在、富士見地区には都市公園９か所、準公園施設１か所が設置されています。
現状・課題	○富士見地区を含む「板橋・大山エリア」では、公園面積、緑被率が区内で最も小さいことから、商店街や住宅地、公共空間などの街並みと調和した身近なみどりやオープンスペースの整備が必要です。

第３章　旧板橋第三小学校跡地活用方針

１　基本的な考え方

平成 30 年度に策定した「旧板橋第三小学校跡地活用基本構想」の考え方を踏まえ、旧板四中跡地活用及び本庁舎周辺公共施設再編を見据え、資産の有効活用により魅力とサービス・機能向上を図る観点から、令和８（2026）年度を始期とする板橋区基本計画 2035 に基づき、広く区政課題を解決するため、活用方針を策定しました。

○　都営三田線板橋本町駅から徒歩５分以内かつ旧中山道に隣接する好立地を活かし、有効活用を検討します。

○　学校跡地という大規模な敷地を有効に活用する視点から、既存施設の機能充実や周辺施設の老朽化などへ柔軟に対応していくことを念頭に、跡地の有効活用を検討します。

○　将来の行政需要及び富士見地区周辺における公共施設ファシリティマネジメントの必要性に鑑み、区が土地を保有し続け、施設整備にかかる構想・計画を策定します。整備する施設におけるサービス・機能の検討にあたっては、実施主体の「区」のみならず、「民間」との連携も視野に入れ、魅力の創造・サービスの向上を図ります。

２　活用のコンセプト

活用のコンセプトを３つ設定します。

①　地域の防災力を高める「広場・防災機能強化」

一時集合場所に位置付けられている現在の旧板三小にある広場機能を継続するとともに、地域防災機能の維持・継続を図るための住民防災倉庫や防災備蓄倉庫を整備します。

②　誰もが気兼ねなく集える空間「コミュニティ空間整備」

本町集会所の機能移転を軸に、集会所機能の整備を検討します。また、緑を感じながら誰もが集い・気軽に休憩ができる広場空間を整備します。

③　未来志向で柔軟に対応可能なしつらえ「将来需要への柔軟な対応」

旧板四中跡地施設整備を含む、本庁舎周辺の公共施設再編を円滑に進めるための受け皿を確保します。また、要支援児童等への対応強化として、子ども家庭総合支援センターを補完する機能を検討するとともに、将来需要へ柔軟に対応できる設えを検討します。

３　課題解決の方向性／配置する機能

上記コンセプトなどを踏まえた、課題解決の方向性及び配置する機能は、以下のとおりです。

①　本町集会所の機能移転を軸に、誰もが利用しやすい集会所機能を整備し、地域交流・コミュニティ形成を促進します。

②　住民防災倉庫等及び広場空間を整備し、地域の防災力向上を図ります。

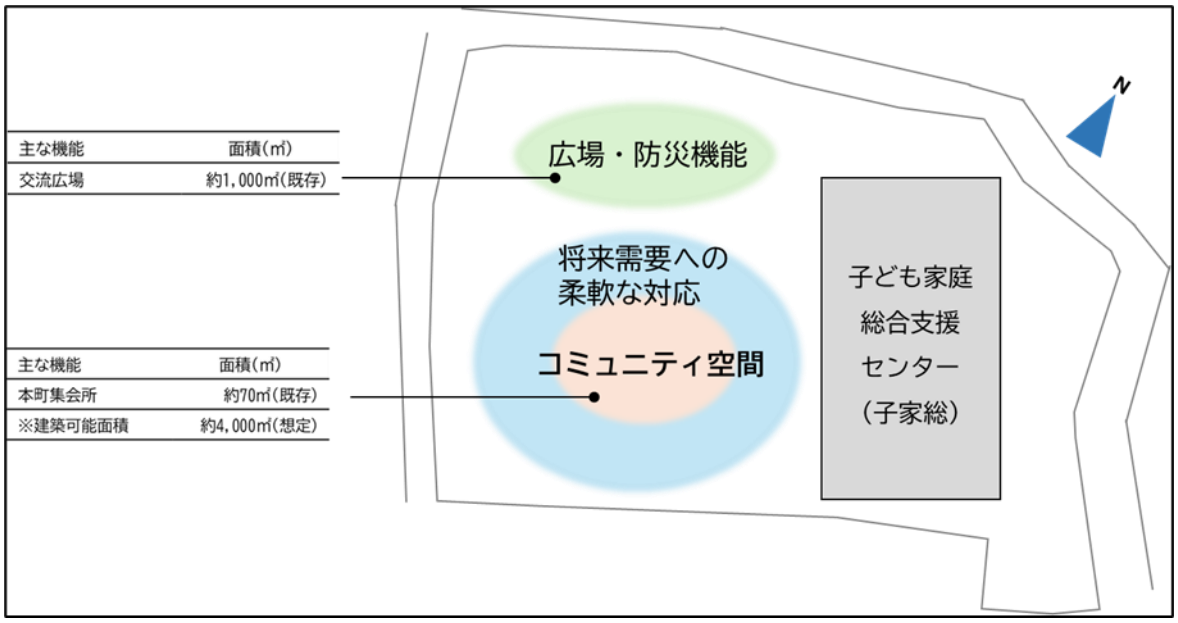
③　隣接する子ども家庭総合支援センターとの連携を含め、新たな行政需要へ対応するための機能を検討します。

④　旧板四中跡地施設整備や本庁舎周辺公共施設再編が円滑に進むよう、仮移転を含め、既存機能を継続的に展開しうるオフィス機能を整備します。なお、仮移転する機能については、本庁舎周辺公共施設再編にあわせて検討を深度化します。

⑤　④について一定の役割を終えた際に、民間活用なども可能な設えを検討します。また、旧板三小を暫定的に活用している公文書館や更生保護サポートセンターなどについては、並行して仮移転・本移転先を検討します。

4　ゾーニング案

配置する機能のゾーニング案は、以下のとおりです。なお、今後の検討により、変更する可能性があります。



第４章　施設整備構想

１　基本理念

（１）基本理念の考え方

活用方針で整理した「広場・防災機能強化」「コミュニティ空間整備」「将来需要への柔軟な対応」３つの視点を踏まえ、施設整備構想における基本理念を示します。

（２）基本理念

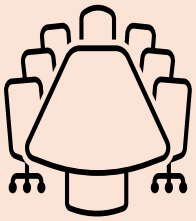
広場・防災機能強化

○ 一時集合場所に位置付けられている広場機能継続
○ 地域防災機能の維持･継続をするための住民防災倉庫等の整備



コミュニティ空間整備

○ 本町集会所の移転を軸に、集会所機能を整備
○ 緑を感じながら気軽に集い･休憩ができる広場空間の整備



将来需要への柔軟な対応

○ 本庁舎周辺公共施設再編を円滑に進める受け皿
○ 要支援児童等への対応強化として子ども家庭総合支援センターを補完するほか、将来需要へ柔軟に対応



第５章　施設整備計画の検討状況

施設整備構想で定めた基本方針・基本理念について、令和８年５月２２日と２３日に富士見地域センター及び本町集会所の２か所で、令和８年４月に作成した中間のまとめを資料とし、説明会を開催しました。

●説明会時の主な意見

- 今の集会所は 40 人程度しか入れない。100 人くらい入れる広い集会所を作ってもらいたい。
- 住民防災倉庫を今の縁切榎の倉庫から新施設内に移してほしい。
- 防災訓練ができるよう広場は残してほしい、また、雨水を貯めて消火に使えるよう防火水槽（消防水利）は残してほしい。
- 縁切榎のトイレの整備をしてほしい。
- 地域の人が今まで通り集えるように、使用料は検討してもらいたい。
- 老人クラブなどが使う備品を置いておけるようなスペースがあると良い。
- 旧板三小・稲荷台小統合の記念室は、地域や卒業生の思い出を未来に継承できるようにしてほしい。

施設整備検討状況に対する地域の思い、施設利用者の新施設への思いを受け止めながら地域が活用しやすい施設となるよう検討を進めていきます。

また、周辺には、中山道最初の宿場町である「板橋宿」の歴史や、悪縁を断ち良縁を結ぶと伝えられる「縁切榎」など、人々の往来や交流をはぐくんできた地域資源があります。

板橋宿が人々を迎え、送り出してきたように、歴史を継承しつつ日常の心地よさや様々な出会いや活動から交流が生まれる、はじまりの場所となるような想いを込め、板橋駅西口にある「むすびのけやき」までの、旧中山道沿いのご縁物語として、新しい出会いを育て、「えんのもり」と繋がるような施設をめざし、検討を進めていきます。

１　建物構造・機能

検討事項として、板橋区基本構想の９つのめざす姿のひとつである「子ども・若者・子育て世代が住みたくなるまち」の実現に向けて、隣接する子ども家庭総合支援センターと連携した切れ目のない子育て支援の充実が図られるよう、検討を深度化する必要があります。

２　運営方針

各施設間のセキュリティを区分け、共有できる機能は共有し、複合施設のメリットを最大限活かした最適な運営計画を推進していきます。

また、広場空間については、既存の開放時間を基本に、広く地域で活用できるよう検討を進めていきます。

３　施設整備の考え方

（１）機能構成と想定規模

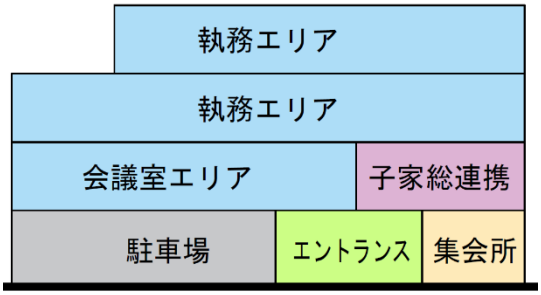
本施設で整備する諸室は、大きく「集会所機能」「防災機能」「将来需要への柔軟な対応エリア」の３つの機能に分けられます。本計画時点での、各エリアの想定規模は、全体で約 4,000 ㎡程度を想定しています。想定面積は、今後の、基本設計以降の詳細検討により変更となる可能性があります。

機能名	諸室エリア	主な内容	想定規模	小計
将来需要への柔軟な対応エリア	行政機能	執務室・会議室（本庁舎周辺整備をはじめとする、行政機能の仮移転先となる機能など）	約 2,350 ㎡	約 3,600 ㎡
	子ども家庭総合支援センター連携機能	隣接する子ども家庭総合支援センターの機能拡充となる連携諸室	約 250 ㎡	
	共用エリア	WC・廊下・階段・EV・倉庫・設備関係諸室等	約 1,000 ㎡	
集会所機能	集会所	集会室等	約 100 ㎡	約 100 ㎡
全体共用	エントランス	エントランス・WC 等	約 160 ㎡	約 160 ㎡
	広場・防災機能	住民防災倉庫・防災備蓄倉庫	約 140 ㎡	約 140 ㎡
施設全体				約 4,000 ㎡

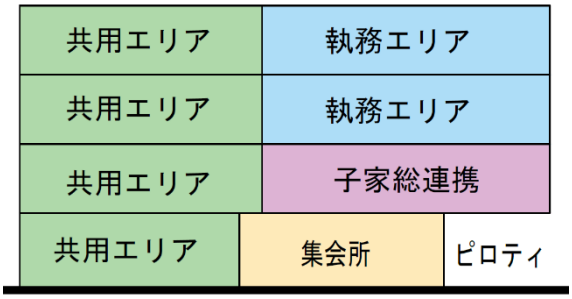
【施設の主な構成イメージ】



東西断面イメージ図



南北断面イメージ図



※住民防災倉庫は、道路からのアクセスのしやすい位置で検討、防災備蓄倉庫の配置場所については、災害時に使いやすい動線等を検討し配置します。

（2）各エリアの構成

各エリア内の室や面積は、原案でお示しします。

4　外構計画

○　外構計画として整備する機能は、以下のとおりです。

項目	整備方針
駐車場の整備	施設運用に必要なサイズの車両・台数を踏まえながら、板橋区大規模建築物指導要綱、及び東京都駐車場条例による規制に従う台数以上の駐車場を整備します。
駐輪場の整備	施設運用に必要な台数を踏まえながら、板橋区大規模建築物指導要綱による規制に従う台数以上の駐輪場を整備します。
緑化計画	本計画は東京都板橋区緑化の推進に関する条例、及び東京における自然の保護と回復に関する条例の規制を受けるため、それぞれに適合した緑化面積・接道緑化長さを計画します。
自主管理歩道の整備	本計画は板橋区大規模建築物指導要綱による規制を受けるため、要綱に従い、幅員３m の常時一般に解放された自主管理歩道を敷地接道部（現況歩道がない道路）に整備します。
広場の整備	一時集合場所に位置づけられている現在の旧板三小にある広場機能を継続し、地域の防災力向上を図ります。

5　その他整理すべき検討事項

（1）各施設の法令・運用制度整理

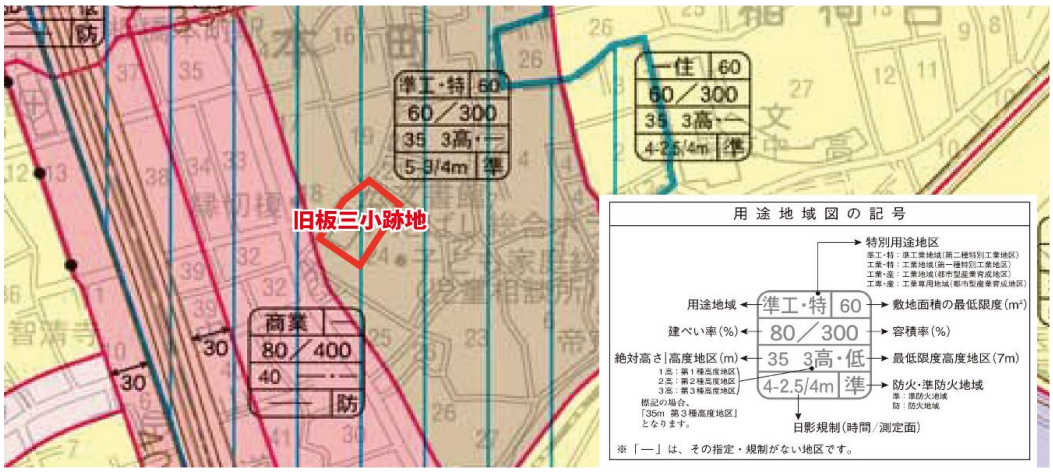
○　各施設は、関連法令や運用制度等による様々な制約があります。複合・集約化するにあたり、効率的・効果的な施設・管理運営の実現に向けて、法令・運用制度を整理する必要があります。

○　現時点で想定される法令条件は、以下のとおりとなります。

項目	内容
住所	東京都板橋区本町２４-1
用途地域	準工業地域
建蔽率	60%
容積率	300%
防火地域の指定	準防火地域
高度地区	第 3 種高度地域
日影規制	5-3/4m
その他	絶対高さ 35m

道路	幅員
板橋区道 347-1 号線（北東側）	約 6.0m
板橋区道 1931 号線（北西側）	約 6.0m

【都市計画図】



板橋区都市計画図より

（2）機能の仮移転・本移転先の検討

○ 旧板四中跡地施設整備や本庁舎周辺公共施設再編にあわせて、既存機能の継続を前提に、円滑な仮移転計画を検討していく必要があります。

○ 旧板三小を暫定活用している既存機能の仮移転先及び本移転先を検討していく必要があります。

機能	仮移転先	本移転先
いたばし総合 ボランティアセンター	旧板橋保育園	旧板四中跡地へ移転
公文書館	旧板橋第九小学校	本庁舎周辺公共施設再編にあわせて移転先を検討
更生保護サポートセンター	検討中	
板橋第三小学校　稲荷台小学校 記念室	近隣学校で検討中	新施設内展示スペース検討

6　整備・配慮すべき事項

（1）ユニバーサルデザイン

○ 整備計画

◆ 誰もが使いやすいユニバーサルデザインに配慮した施設整備を推進します。

○ 家具計画

◆ 「板橋区ユニバーサルデザインガイドライン」に基づき、基本設計・実施設計時に決定します。

○ サイン計画

◆ 施設整備において設置する各サインは、「本庁舎サイン整備基本方針」及び「板橋区サイン多言語化基準書」に従い、だれもが見やすくわかりやすいサインを整備します。

（2）環境配慮・省エネルギー

○ 「省エネルギー計画について、ZEB Ready 以上となるような計画とします。

○ 「板橋区公共施設 省エネルギー・環境配慮設備等導入基準」に沿った整備項目の検討を行い、環境負荷低減に配慮した施設整備を検討します。
○ なお、具体的な設備等については、基本設計・実施設計において検討を行います。



ZEB Ready の定義

定性的な定義	定量的な定義（判断基準）
ZEBを見据えた先進建築物として、外皮の高断熱化及び高効率な省エネルギー設備を備えた建築物	再生可能エネルギーを除き、基準一次エネルギー消費量から50%以上の一次エネルギー消費量削減に適合した建築物

（環境省 ZEB の定義より）

（3）設備計画

○ 電気設備
太陽光発電の設置検討や LED 照明の採用など、環境に配慮した技術及び省エネルギーを推進する技術を取り入れた計画を検討します。
○ 給排水衛生設備
効率的でメンテナンスのしやすい計画とし、節水型器具を採用するなど節水に配慮します。
○ 空調設備
用途毎に適切な空調方式を検討し、利用者にとって快適な空調計画とします。
○ 昇降機設備
ユニバーサルデザインに配慮した仕様・多言語に対応した仕様とします。

（4）長寿命化計画

○ 耐久性を有する材料・汎用性の高い材料の選定を基本に、ランニングコストを意識した設計とし、メンテナンスしやすい動線の確保を検討します。

第６章　事業手法・今後のスケジュールなど

１　事業手法

建物構造・機能や施設配置案、管理運営計画を踏まえ、民間活力導入の可否を検討していきます。

２　想定事業費

建物構造・機能や施設配置案、管理運営計画を踏まえ、設計・工事費を算出していきます。

３　事業・工事スケジュール

本庁舎周辺公共施設の再編にあわせ、建物構造・機能や施設配置案、事業手法を踏まえた、最適な設計・工事スケジュールを設定していきます。

令和９年度	令和１０年度	令和１１年度	令和１２年度～
基本設計・実施設計・解体設計		解体工事	工事

第７章　住民・施設利用者意見まとめ（旧板四中と同時説明）

１　住民説明会の概要

（１）令和７（2025）年５月実施

■説明会の概要

	5/23(金) 19:00～20:00 富士見地域センター	5/24(土) 10:00～11:00 富士見地域センター	計
参加者	55 名	25 名	80 名

■主な意見

○ 若者や高齢者も含めた多世代交流の場としての機能を整備してほしい。

（２）令和７（2025）年 11 月実施

■説明会の概要

	11/28(金) 19:00～20:00 富士見地域センター	11/30(日) 14:00～15:30 大原生涯学習センター	計
参加者	28 名	45 名	73 名

■主な意見

○ 校舎解体の際には、卒業生などを招いたイベントを開催してほしい。
○ スペース・機能の縮小などにより、団体利用が困難にならないよう配慮してほしい。
○ ボランティアセンター利用者の意見を聞く機会を設けてほしい。

（３）令和８（2026）年５月実施

■説明会の概要

	5/22(金) 19:00～20:00 富士見地域センター	5/23（土） 10:00～11:00 本町集会所	計
参加者	42 名	13 名	55 名

■主な意見

○ 町会や老人クラブなど地域活動の場としても活用したい。
○ 地域住民の声を聞きながら進めてもらいたい。





2　施設利用者アンケート

（1）アンケートの概要



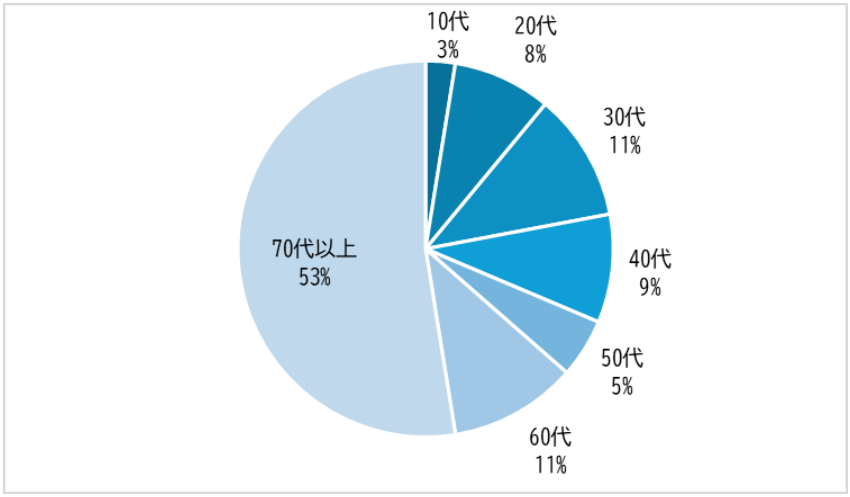
項目	内容
タイトル	旧板四中・旧板三小施設整備に関する施設利用者アンケート
対象	富士見地域センター、大原生涯学習センター、富士見台児童館、いたばし総合ボランティアセンター、本町集会所を利用している方
配付・回収方法	ポスター掲示・チラシ配付による WEB 回答及び書面回答
調査期間	令和 7 年 11 月 13 日（木）～12 月 12 日（金）
回答数	118 件
調査票構成	**1　利用について** ○　よく利用する施設を下記より選択してください。 ○　この施設をどのくらい利用しますか？ ○　主な利用目的は何ですか？

項目	内容
	２　施設への評価 ○　この施設の良いところを教えてください。（自由記述） ○　改善してほしい点はありますか？（自由記述） **３　今後に向けて** ○　旧板四中跡地の施設に整備してほしい施設や機能はありますか？（自由記述） ○　旧板三小跡地の施設に整備してほしい施設や機能はありますか？（自由記述） ○　上記学校跡地周辺の地域で課題だと思うこと、または良いところを教えてください。（自由記述） **４　回答者について** ○　年代・属性

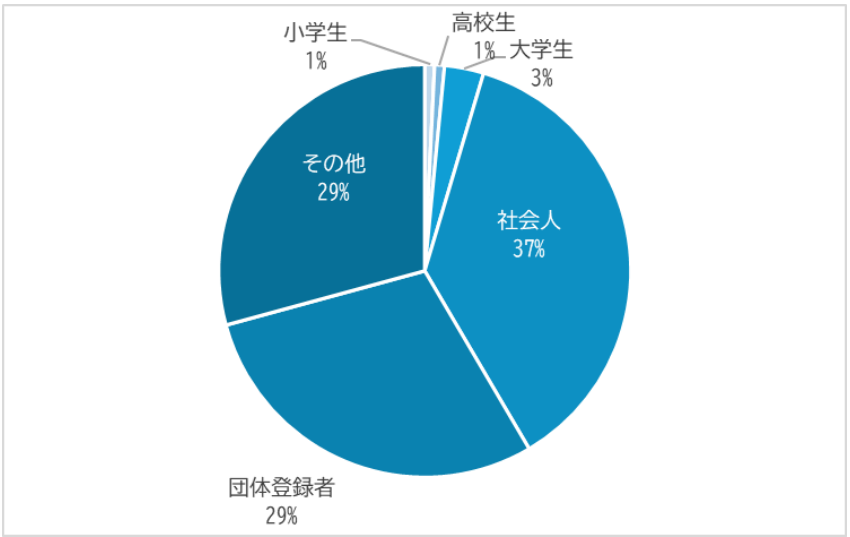
（２）アンケート結果分析

■回答者の属性

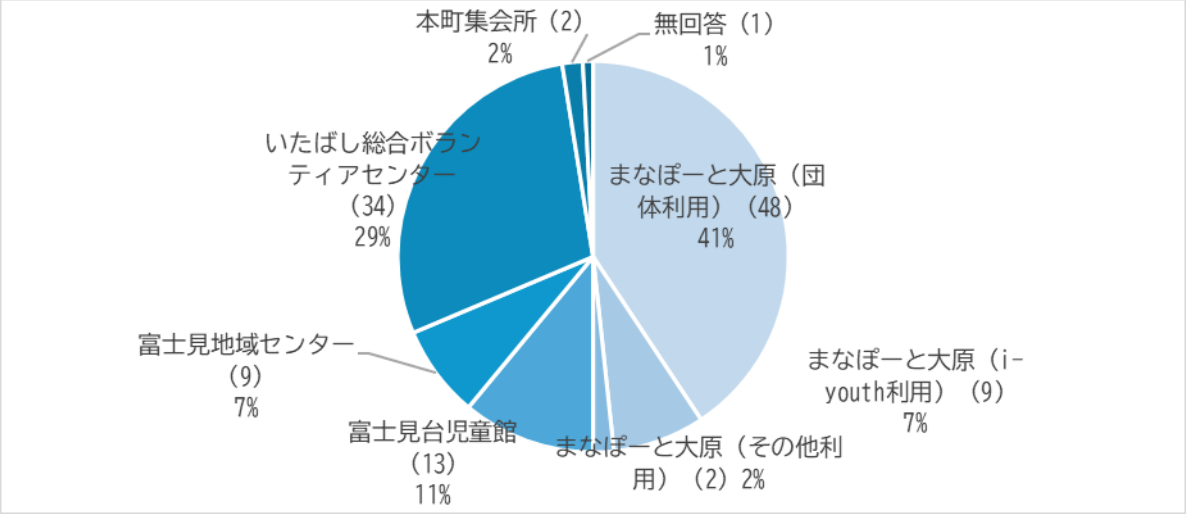
①年代



②職業など



■利用目的整理



（３）自由記述欄意見整理（旧板三小関連の回答のみ抜粋）

○　この施設の良いところを教えてください。（自由記述）

利用施設属性	意見の概要
いたばし総合ボランティアセンター	○　利用料金がかからず、複数の部屋・備品が利用できる点が大きな魅力 ○　駐輪場やコピー機など、設備が整っている ○　学習支援や多文化交流の拠点としても機能している ○　無料の学習塾など、多様な支援活動が行われている ○　受付の方が親切で相談しやすい ○　会場や施設の利便性が高く、静かで落ち着いた環境
本町集会所	○　自宅近くで利用しやすく、自転車でのアクセスが便利 ○　地域活動の拠点になっている

○　改善してほしい点はありますか？（自由記述）

利用施設属性	意見の概要
いたばし総合ボランティアセンター	○　防災機能の充実や、わかりやすい表示を希望する ○　飲食可能スペースの設置やカフェなど軽食施設があるとよい ○　展示室の利用効率化や移設を希望する ○　建物・設備の老朽化対策が必要 ○　洋式トイレの増設や温水洗浄便座機能の設置を希望する ○　Wi-Fi の全館常設・強化を求める ○　設備備品の充実、電子機器を更新してほしい ○　教室数やキャパシティ増加、予約システムの利便性向上を望む ○　駐輪場へ屋根を設置し、駐輪の列を整理してほしい
本町集会所	○　自転車置き場が不足しており、整理整頓が必要 ○　利用時の交通手段や、アクセスに不安がある

■今後に向けて回答

○　旧板三小跡地の施設に整備してほしい施設や機能はありますか？（自由記述）

分類	主な要望・意見の概要
広場･防災機能強化	○　防災機能向上に資する防災拠点が整備されるとよい ○　災害時の避難場所となる防災広場を整備してほしい ○　防災広場をみんなで憩える広場とし、自己責任で遊ぶプレイパークや、豊島キッズパークのようなスペースになるとよい ○　バーベキューやフットサルなどのスポーツができるとよい
コミュニティ･居場所空間整備	○　集会所や集会室機能があるといいため、本町集会所の移転を求める ○　図書館や学童、保育園を整備してほしい ○　子どもが自由に遊べる遊び場空間があるとよい ○　みんなで憩えるスペースや休憩スペースがあるとよい ○　老若男女気軽に立ち寄れる場所になるとよい ○　大学生でも使いやすい学習スペースや鏡付きのダンススタジオ、音楽交流ができるスペースがあるとよい
フレキシビリティ確保	○　区民が無料で利用できるスペースがあるとよい
その他	○　気軽に飲食できるとよい ○　公文書館機能を活かし、民俗学、農業、産業など区の文化を発信する拠点としての機能を充実させてほしい ○　現状のボランティアセンター機能の継続を求める

○　上記学校跡地周辺の地域で課題だと思うこと、または良いところを教えてください。（自由記述）

良いところ	○　静かな地域/落ち着いた環境 ○　治安が良い ○　公園が隣接している ○　「板橋」が近い ○　場所が知られてなじみがある
課題	○　マンションが多くなって地域の繋がりが希薄になってきた ○　町会に入っていない ○　食事をするところが少ない ○　少子化問題、出生率向上が必要 ○　高齢化が進んでいる ○　外国人が増えている ○　騒音対策、枯れ葉対策が必要 ○　小さい子どもが遊べる公園が少ない ○　旧板三小は昔の学校然としているので入口または外観を優しくしてほしい ○　旧板三小跡地周辺地域にはふれあい館のような施設がない ○　新しいマンションが増えて、学校が足りなくなるのではないかと心配 ○　交通機関から少し遠い ○　自転車で利用の場合、自転車の置き場がない

	○　四中、三小学校どちらにしても大原を利用しているものにしては遠くなるので巡回バスを出してほしい ○　施設の周知が不足している
その他	○　もともと学校ができるくらいであるから、本質的には人が集まるところ。安易に宅地などに転用せず、公共の場として維持しようとしているのは良い ○　「縁切榎」に来る人がとても増えているので、その方たちに板橋をアピールできるようにしたら良い ○　会員が高齢なので駅近の場所が良い ○　ダンスをするので鏡があると嬉しい ○　騒音問題を解決できれば、なんとかなりそう